

戦略的プロジェクト研究推進事業

「直播栽培拡大のための雑草イネ等難防除雑草の省力的防除技術の開発」

研究概要図

中課題番号 (e-Radシステム課題 ID)	19190995
中課題名 (契約課題名)	直播栽培拡大のための雑草イネ等難防除雑草の省力的防除技術の開発
研究実施期間	令和元年度～令和5年度 (5年間)
代表機関	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
研究開発責任者	吉永 悟志
研究開発責任者 連絡先	TEL : 029-838-8394
共同研究機関	<p>公立大学法人秋田県立大学</p> <p>国立大学法人信州大学</p> <p>宮城県古川農業試験場</p> <p>山形県農業総合研究センター</p> <p>福島県農業総合センター</p> <p>茨城県農業総合センター</p> <p>新潟県農業総合研究所</p> <p>石川県農林総合研究センター農業試験場</p> <p>山梨県総合農業技術センター</p> <p>長野県農業試験場</p> <p>愛知県農業総合試験場</p> <p>三重県農業研究所</p> <p>山口県農林総合技術センター</p> <p>宮崎県総合農業試験場</p> <p>公益財団法人 日本植物調節剤研究協会 (研究所、研究所千葉支所、福岡研究センター)</p>
普及・実用化 支援組織	<p>山形県</p> <p>三重県</p>

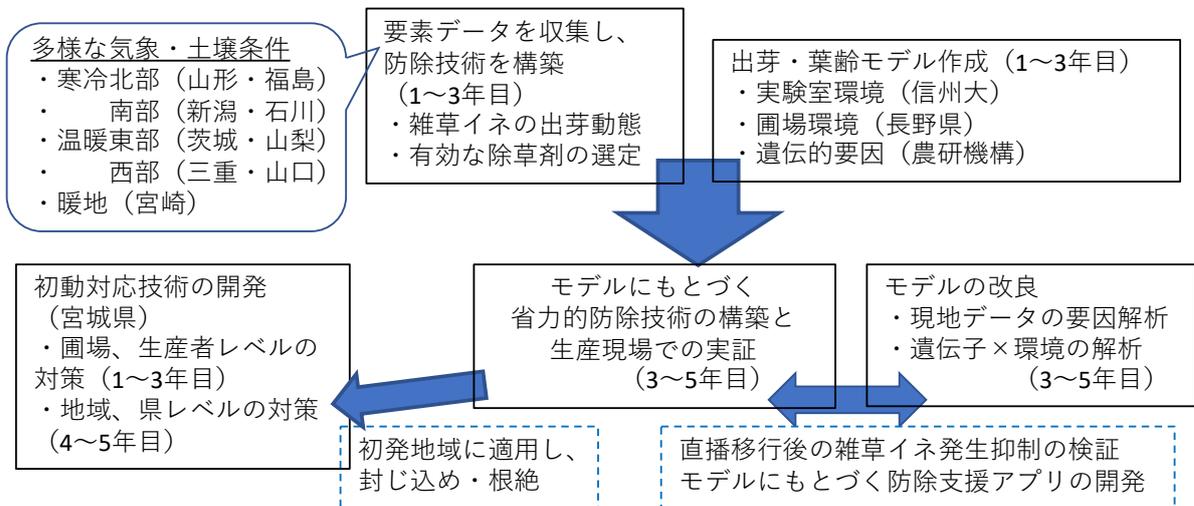
< 研究概要図 >

公募研究課題名	直播栽培拡大のための雑草イネ等難防除雑草の省力的防除技術の開発
---------	---------------------------------

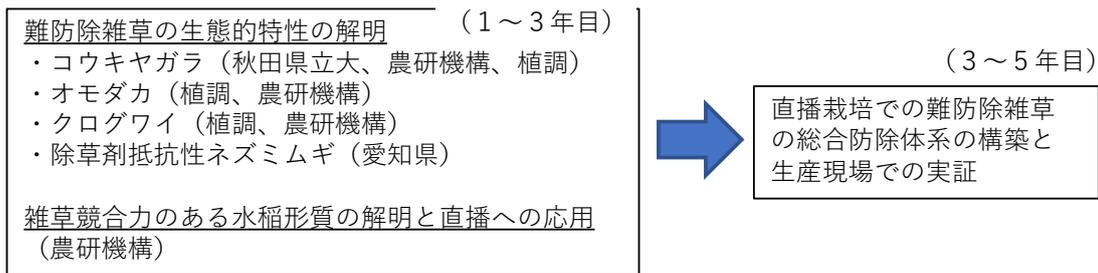
【背景・問題点】
難防除雑草が直播栽培の普及阻害要因となっている

- 雑草イネ：直播で防除不可能。移植の防除も適用地域が狭く、高コスト
- 多年生雑草：直播では防除技術が開発されていない

小課題1 地域・土壌に対応した雑草イネの総合的防除技術の開発による省力的防除体系の確立および防除支援アプリの開発



小課題2 直播栽培における多年生や除草剤抵抗性雑草など難防除雑草の防除法の開発



【達成目標】
 雑草イネの発生量を10株/10アール以下にするなど、
 難防除雑草を営農上無視できる発生量まで低減する省力的防除技術を、
 気象条件・土壌条件の異なる地域で開発する。

【波及効果】

- ・直播可能な面積の増加
- ・雑草イネ防除の省力化

→ 労働・生産コストを削減し、
 実需に応える稲作体系を実現